

第9 農村生活環境の現況及び見通し

1 農村生活環境整備事業等の実施状況

事業種目	関係 集落 番号	受益 戸数 (人口)	事業費 (千円)	主要工事 又は 主要施設名	事業 主 体	事業の着工 完了(予定)度	対図 番号
地域農業生産総合 振興対策事業	B-2 (八条)	110 (-)	10,000	集落センター	八条営農組合	昭和54	1
新農業構造改善事業	C-3 (田島)	84 (-)	12,389	集落センター	田島農業センター 管理組合	昭和55	2
新農業構造改善村 落特別対策事業	D-1 (若旅)	84 (-)	12,550	研修センター	若旅農業研修 センター管理組合	昭和55	3
地域農業生産総合 振興対策事業	D-1 (寺内)	55 (-)	7,000	集落センター	寺内営農組合	昭和55	4
農村総合整備 モデル事業	B 全域 (山前地区)	- (9,652)	277,000	山前農村環境改 善 セ ン タ ー 1,391.91 m ²	真岡市	昭和56	5
地域農業生産総合 振興対策事業	B-1 (東沼)	134 (-)	12,000	集落センター	東沼営農集団	昭和56	6
地域農業生産総合 振興対策事業	D-1 (北中里)	47 (-)	10,000	集落センター	北中里営農集団	昭和56	7
地域農業生産総合 振興対策事業	D-1 (柳林)	55 (-)	14,483	集落センター	柳林営農組合	昭和57	8
地域農業生産総合 振興対策事業	C-3 (飯貝)	82 (-)	7,334	集落センター	飯貝下営農集団	昭和58	9
地域農業生産総合 振興対策事業	C-3 (上大田和)	92 (-)	12,470	集落センター	上大田和営農組合	昭和58	10
農村総合整備 モデル事業	D 全域 (中地区)	- (6,014)	256,000	中村農村環境改 善 セ ン タ ー 1,324.23 m ²	真岡市	昭和60	11
地域農業拠点 整備事業	A-2 (亀山)	117 (-)	12,500	集落農事集会所 (亀山集落センター)	亀山地区営農組合	昭和60	12
新農業構造改善事 業	A-1 (西郷)	65 (-)	10,000	構造改善センター (西郷集落センター)	西郷中峰営農組合	昭和60	13
新農業構造改善事 業	A-1 (東郷)	95 (-)	7,788	構造改善センター (東郷集落センター)	西郷営農組合	昭和61	14
新農業構造改善事 業	C 全域 (大内地区)	- (1,700)	169,000	大内農業構造 改 善 セ ン タ ー 665.20 m ²	真岡市	昭和62	15
快適なむら21 推進事業	B-3 (西田井)	438 (-)	21,500	西田井多目的会館	西田井むらづくり 推進協議会	平成6	16
快適なむら21 推進事業	A-3 (東沼・西沼)	59 (-)	20,000	両沼集落研修 センター	西沼むらづくり 推進会	平成8	17
農業集落排水事業	C-3 (飯貝)	52 (-)	146,450	処理場敷地 305 m ² 管路延長 1,146m	真岡市	昭和61	18
農業集落排水事業	B-2 (小林)	245 (-)	627,000	処理場敷地 1,072.23 m ² 管路延長 8,807m	真岡市	平成元	19
農業集落排水事業	D-1 (粕田)	136 (-)	637,000	処理場敷地 996.09 m ² 管路延長 6,531m	真岡市	平成5	20
農業集落排水事業	B-4 (小貝川東部)	147 (-)	1,549,850	処理場敷地 978 m ² 管路延長 14,432m	真岡市	平成8	21

事業種目	関係 集落 番号	受益 戸数 (人口)	事業費 (千円)	主要工事 又は 主要施設名	事業 主 体	事業の着工 完了(予定)度	対図 番号
農業集落排水事業	D-1 (大沼)	141 (-)	912,000	処理場敷地 2,409 m ² 管路延長 5,495m	真岡市	平成 10	22
農業集落排水事業	A-1 (東郷)	375 (-)	1,800,000	処理場敷地 3,038.64 m ² 管路延長 12,401m	真岡市	平成 12	23
農業集落排水事業	B-2 (東大島)	330 (-)	1,775,000	処理場敷地 2,592 m ² 管路延長 13,045m	真岡市	平成 13	24
農業集落排水事業	B-1 (両沼地区)	353 (-)	1,673,000	処理場敷地 1,854 m ² 管路延長 20,578m	真岡市	平成 16	25
県営水環境整備事業	B-3 (西田井)	-	582,000	農村公園 (西田井駅前公園)	栃木県	平成 8	26
県単土地改良事業 (農村環境整備事業)	C-1 (京泉)	-	87,200	農村公園 (京の泉公園)	真岡市	平成 12	27
県単農村環境施設 整備事業 (河川改修)	C-1 (京泉)	-	255,000	農村公園 (宮川公園)	真岡市	平成 3	28
県単環境整備事業	C-1 (堀内)	-	-	農村公園 (堀内ほたるの里公園)	真岡市	-	29
山あいの里整備事業	B-4 (南高岡)	-	290,549	農村公園 (仏生寺公園)	真岡市	平成 6	30
農村集落総合 整備事業	G-1 (古山)	93 (-)	9,000	古山集落センタ ー 130.41 m ²	古山自治会	昭和 54	31
農村集落総合 整備事業	E-1 (桑ノ川)	49 (-)	8,000	桑ノ川集落セン ター 114.48 m ²	桑ノ川自治会	昭和 54	32
転作促進整備事業	E-1 (東鹿)	28 (-)	5,000	鹿集落センター 75 m ²	東鹿自治会	昭和 54	33
県道拡幅移転補償 事業	E-2 (物井)	37 (-)	6,000	物井集落センタ ー 75 m ²	下原自治会	昭和 55	34
水田再編整備事業	E-3 (三谷)	57 (-)	9,760	三谷集落センタ ー 136.89 m ²	三谷営農集団	昭和 55	35
水田再編整備事業	E-2 (高田)	145 (-)	13,154	高田集落センタ ー 164.02 m ²	高田営農集団	昭和 55	36
水田再編整備事業	E-1 (沖)	82 (-)	10,676	沖集落センタ ー 162.28 m ²	沖営農集団	昭和 56	37
転作促進整備事業	G-2 (上大曾)	80 (-)	10,212	上大曾集落セン ター 135.54 m ²	上大曾営農集団	昭和 56	38
水田再編整備事業	F-1 (石島)	139 (-)	12,609	石島集落センタ ー 165 m ²	石島営農集団	昭和 57	39
転作促進整備事業	F-1 (大根田)	112 (-)	11,318	大根田集落セン ター 169.76 m ²	大根田営農集団	昭和 58	40
転作促進整備事業	F-1 (阿部品)	72 (-)	11,137	阿部品集落セン ター 159 m ²	阿部品営農集団	昭和 58	41
県単村づくり事業	G-2 (上谷貝)	53 (-)	15,755	上谷貝集落セン ター 123 m ²	上谷貝むらづくり推 進協議会	平成 4	42
県単村づくり事業	E-1 (横田)	89 (-)	22,001	横田集落センタ ー 154 m ²	横田むらづくり推 進協議会	平成 8	43
県単村づくり事業	E-3 (二宮東部)	963 (-)	22,000	二宮東部運動広 場 19,900 m ²	旧二宮町	昭和 54	44
県単村づくり事業	F-2 (長島)	89 (-)	2,890	長島農村広場 2,300 m ²	長島農用地 利用改善組合	昭和 57	45
県単村づくり事業	E-3 (三谷)	72 (-)	3,000	三谷農村広場 2,000 m ²	旧二宮町	昭和 62	46
農村総合整備 モデル事業	E-2 (下物井)	359 (-)	20,394	下物井公園 3,000 m ²	旧二宮町	平成 8	47

事業種目	関係 集落 番号	受益 戸数 (人口)	事業費 (千円)	主要工事 又は 主要施設名	事業 主 体	事業の着工 完了(予定)度	対図 番号
県単土地改良事業 (農村環境整備事業)	F-1 (大根田)	-	2,500	大根田公園 4,190 m ²	旧二宮町	平成 16	48
農業集落排水事業	E-1, 2 (鹿・物井)	141 (-)	761,000	処理場敷地 1,367.86 m ²	栃木県	平成 11	49
農業集落排水事業	E-2 (二宮地区)	280 (-)	63,200	処理場敷地 712 m ² 管路延長 11,333 m	旧二宮町	平成 11	50
農業集落排水事業	E-2 (二宮東部)	511 (-)	2,167,000	処理場敷地 2,860.99 m ² 管路延長 30,027 m	旧二宮町	平成 20	51

農村生活環境整備状況図（基礎資料附図 5 号）別添

2 農村生活環境整備の問題点

(1) 安全性

① 防災・減災

平成 23 年の東日本大震災、平成 24 年の竜巻被害、平成 26 年の大雪による被害等、近年大きな影響を受けている。今後も、地震や異常気象による風水害等の発生が予測されており被害が拡大するおそれがある。

② 交通安全、防犯

交通事故は減少傾向ではあるが、超高齢者社会の進展に伴う高齢運転者が関係する事故の増加が全国的にもみられる。市道及び農道においては一部道幅が狭く、見通しが悪いところがあり、ガードレールやカーブミラー等の交通安全施設の設置が必要である。

防犯については、犯罪発生件数は減少傾向ではあるが、児童虐待や DV、車上荒らし等が増加傾向のほか、特殊詐欺や農作物の盗難による被害も発生している。

(2) 保健衛生性

① ごみ処理

「ものを大切にする都市宣言」のもと、平成 26 年度の有料化により減量化が進んだが、その後は微増となっている。ごみの発生抑制と減量化のため、更なるごみの分別と再資源化を徹底していく必要がある。

② 下水道

農村地帯の下水処理は、一部の地域においては農業集落排水事業により整備されているが、未整備である区域については小型合併処理浄化槽による排水整備を図っており、生活環境が改善されつつある。今後も引き続き農業集落排水事業の利用促進と合併浄化槽の設置を推進する。

③ 給水

農村地帯では地下水に頼っている世帯もあるが、地下水の低下・水質汚染等が予想されるため、給水区域の拡張を進める必要がある。また、施設の老朽化が進行するなかで、適切な維持管理が課題である。

④ 保健・医療

平成 31 年 4 月から初期救急を担う休日夜間急患診療所を運営し、医療体制の充実に取り組んでいる。地域医療体制維持のためには、かかりつけ医の推奨や救急医療機関・救急車の適正利用について市民へのさらなる周知が必要である。災害時には円滑に対応できる医療体制の構築が求められるほか、医療従事者の確保対策が必要である。

(3) 利便性

① 公共交通

自家用車が移動手段の中心であるが、子供・高齢者等の運転免許証を持たない市民の移動手段として交通ネットワークの整備が重要であり、市民の日常の足として利用者のニーズに応じて運行する必要がある。また、超高齢化社会に対応すべく、いちごタクシー・いちごバスの利便性の向上や、他の公共交通機関等と連携した交通ネットワークの構築も求められる。

② 通信

行政手続き等における情報通信技術の活用など、効率的なサービス提供が求められている。

(4) 快適性

① 高齢者介護

高齢化社会の急速な進展を背景に、地域コミュニティが弱まっている。高齢者のみの世帯が増加し、外出の機会がなくなることから人間関係も希薄化していくことから、地域住民、事業者、各種団体、行政が参画した地域社会を目指していく必要がある。

② 子育て支援

核家族化や女性の社会進出等の社会的背景に、出生率の減少が進行している。これにより労働力人口の減少や地域社会の活力低下等、社会経済だけではなく、子どもを産み育てる環境や、虐待など児童の養育に関することや出産・育児に対して不安を持つ家庭が増加している。

③ コミュニティ

市街化区域では土地区画整理事業等により、良好な住宅地の供給が進んだが、その一方で、農村部では空き家が増加するなど地域によって様々な課題がある。なかでも自治会の加入率の減少と自治体組織内の連帯意識の希薄化への対応が必要となっている。

(5) 文化性

① 生涯スポーツ・生涯学習の推進

健康の維持増進や体力の向上に関しての意欲が高まるなか、市民のスポーツ・レクリエーション活動が活発化している。今後、高齢化社会に対応した、生きがい創出や身近な学びの場の充実が求められている。

② 文化芸術の振興・継承と芸能保存

本市では、観光拠点施設として真岡木綿会館、久保記念観光文化交流館および道の駅等の施設、また真岡の一万本桜まつりや5大夏祭り等の観光イベント、大前神社・高田山専修寺等の文化施設に年間 296 万人の観光客が見込める。特産品でもある「いちご」活用したグリーンツーリズムの推進や「真岡木綿」を活用し、誘客を図っている。